児童の熱中症対策に
ウォータークーラーを寄贈

▲目録を手渡した北森代表取締役（左）

4月18日、島田工業の北森誠也代表取締役が市役所鏡支所を訪れ、ウォータークーラーの贈呈式が行われました。これは、児童の熱中症対策に協力したいとの思いから八千把小学校にウォータークーラー3台が寄贈されたもので、今回で2回目です。

北森代表取締役が「子どもたちに喜んでもらえたらうれしい。できる範囲で協力をしていきたい」と話すと、中村博生市長は「昨年に引き続き寄贈いただきありがたい。夏に向けて子どもたちの安心安全な学校生活に役立てていきたい」とお礼を述べ、感謝状を手渡しました。

開催まであと102日
カウントダウンボード設置

▲制作に携わった秋山さん（左から２番目）、水田さん（同３番目）

4月18日、今夏本市で開催される全国高等学校総合体育大会バドミントン競技とアーチェリー競技のカウントダウンボードが新八代駅に設置されました。

このカウントダウンボードは八代工業高校の生徒が制作したもので、デザインなども生徒が考えて制作し、全国の人に八代の魅力が伝わればとボードには亀蛇が描かれています。

制作に携わった秋山星那さん（インテリア科3年）と水田篤志さん（同3年）は「100点満点の出来です」、「たくさんの人に八代の魅力が伝わればうれしい」とそれぞれ話しました。

台湾の高校生が実習体験
八代農業高校　台湾学生と交流

▲練りパイを製造する台湾学生

台湾で行われた農業系コンテストの各部門で優勝した台湾の高校生9人が4月18日、八代農業高校を訪れ、同校生と交流を深めました。

食品科学科では、生徒20人と一緒に8グループに分かれてりんごジャム入りの練りパイを製造。福祉家庭科では生徒6人に手伝ってもらいながら着物の着付けを行い、慣れない着物に戸惑いながらも、着物に身を包んだ王昱淇さんは「初めて着物を着ました。柄がとても気に入った」とうれしそうに話し、穂積来夢さん（福祉家庭科3年）は「人に教えるのは難しかったが、とても楽しかった」と笑顔で話しました。

海の女王が八代に
クイーン・エリザベスが八代港に初寄港

▲サイモン船長（左から３番目）と中村市長（右から３番目）

4月26日、海の女王と呼ばれる豪華客船クイーン・エリザベス（9万9900トン、全長294メートル）が八代港に初寄港しました。

同客船は19日に横浜港を出港して日本海側などをめぐる10日間のツアーで、八代が最後の寄港地。約2000人の乗客らは寄港すると、八代宮や、日奈久温泉などを訪れ、八代の観光を満喫しました。船内では歓迎式典が行われ、サイモン・ラブ船長は「今回初寄港できたことを光栄に思います。2021年にも八代に寄港する予定で、とても楽しみにしています」と話しました。

長年の功績をたたえて
人権擁護委員退任に伴う感謝状伝達式

▲感謝状を受け取った伊藤さん（左から２番目）

3月30日をもって人権擁護委員を退任した伊藤公明（ともあき）さんに、長年の功績をたたえて法務大臣から感謝状が贈られ、5月9日に市役所鏡支所で感謝状の伝達式が行われました。

伊藤さんは平成25年4月1日から6年にわたり、人権擁護委員を務め、地域住民の人権擁護と人権尊重の普及・高揚に尽力しました。保護司の経験を生かし、相談者に対し親身になった対応を行ってきました。

感謝状を受け取った伊藤さんは「人権擁護委員を務めた縁をこれからの人生に生かしていきたい」と話しました。

母の日に優雅な時間を
日奈久温泉カーネーション風呂

▲カーネーション風呂を楽しみました

5月12日の母の日に日奈久温泉内の7施設で約4000輪のカーネーションを湯船に浮かべるカーネーション風呂が実施されることに伴い、5月9日、金波楼で報道向けに事前撮影会が行われました。

これは、日奈久の若手地域おこしグループ「Team 一♡日奈久」が母の日の記念イベントとして行っており、今年で7回目です。

この日は地元の3家族が招待され、地元農家が提供した赤やピンクのカーネーションが湯船を彩ると、招待客らは「きれい」「いい匂いがする」と温泉を楽しみました。

はちべえトマトを使用したワイン
ワイン＆トマトカクテル

▲発売の報告をしたJAやつしろの関係者らと中村市長

4月1日に八代産ブランド「はちべえトマト」を使用した「ワイン&トマトカクテル」が発売され、JAやつしろの田島幹雄組合長らが19日、市役所鏡支所を訪れ、中村博生市長に報告をしました。

この商品は100パーセントのトマトジュースと国産ノンアルコール赤ワインを使用したぜいたくな逸品で、アルコールを摂取できない人でもワイン風に楽しみながら飲むことができます。JAやつしろ本所や熊本市の桜十字病院などで販売され、今後は本市や氷川町のふるさと納税の返礼品としても取り扱う予定です。

肥前のやきものが八代に
博物館　春季特別展覧会

▲やきものを鑑賞する来館者

4月19日、春季特別展覧会「佐賀県立九州陶磁文化館所蔵名品展　肥前陶磁の美　百花繚乱のやきもの散歩」が市立博物館で始まりました。

この展覧会では佐賀県立九州陶磁文化館が所蔵する肥前陶磁の中から国指定重要文化財2点、国登録有形文化財7点を含む60点を展示しています。

初日の開会式で松井葵之館長（みちゆき）が「唐津焼と有田焼の華やかな世界を堪能ください」と話すと、佐賀県立九州陶磁文化館の鈴田由紀夫館長は「肥前のやきものの美をゆったりとご覧ください」と話しました。

本市初 IT関連企業の立地協定締結
MARUKU立地協定締結

▲左から中村市長、小山社長、小野副知事

4月23日、県庁で小野泰輔副知事立ち会いのもと、本市とIT関連企業のMARUKUが立地協定を締結しました。

同社は、2017年に県外企業の経営者の出資により、山都町を本社として設立され、Webサイトの制作・運用、デジタルコンテンツの開発などを手掛けています。調印式では、中村博生市長がIoTやICTを活用したビジネス活性化策を推進していきたい」と話すと、MARUKUの小山光由樹（みゆき）社長は「商店街の活性化や八代市との連携につなげたい」と抱負を述べました。

自分たちの住んでいるまち
第17回八代亜紀絵画コンクール表彰式

▲今回受賞した皆さん

5月10日、やつしろハーモニーホールで第17回八代亜紀絵画コンクールの表彰式が行われました。

「自分たちの住んでいるまち」というテーマに八代市郡から644点の応募があり、八代亜紀さんが選ぶ八代亜紀大賞1点、八代亜紀賞10点、入選16点、佳作76点が選ばれました。

八代亜紀大賞を受賞したのは森菜々美さん（八代清流高校3年）の作品。森さんは「岩の明暗をはっきりさせるよう頑張りました。家族に早く報告したい」と笑顔で受賞の喜びを語りました。

歩くからこそ気づく景色
第25回記念九州国際スリーデーマーチ

▲美しい新緑の中を歩く参加者

5月10日～12日の3日間、「第25回記念九州国際スリーデーマーチ2019」が開催され、国内外からのウオーカー延べ約1万6000人が八代の自然や歴史を感じながら歩きました。

コース途中に設けられた休憩所では、地元ボランティアがお茶やお菓子のほか、トマトなどの地元食材でウオーカーを温かくもてなしました。また、球磨川河川緑地内のメインステージでは松中信彦さんや陣内貴美子さんのトークショー、八代亜紀さんのミニライブなどのイベントもあり、ウオーカーだけでなく会場を訪れた家族連れなども同大会を楽しみました。

八の字堰の完成を祝う
八の字フェスタ

▲関係者らによる除幕式

5月12日、球磨川遥拝堰下流に「八の字堰」が完成したことを祝い「八の字フェスタ」が球磨川遥拝堰下流左岸で開催され、国や県、市の関係者など約110人が参加しました。

遥拝堰下流に、アユなどの魚類の良好な生息場を保全・再生するため、国土交通省八代河川国道事務所の施工により、4年の歳月を経て今年3月に完成しました。

式典では中村博生市長が「八代の発展の基礎となった八の字堰の復活を市の発展にもつなげていきたい」と意気込みました。式典後に関係者らは除幕式や餅投げで完成を祝いました。